

2 世帯・住居

(1) 世帯

— 世帯数は、32,491世帯、一世帯当たりの世帯人員2.46 —

平成27年10月1日現在の世帯数は32,491世帯で、世帯人員は、80,090人となっています。このうち一般世帯数は、32,449世帯（世帯人員78,755人）、一般世帯を構成しない施設等の世帯は、42世帯（世帯人員1,335人）となっています。

平成22年に行われた前回調査と比べると世帯総数は、977世帯（3.1%）、一般世帯数は、963世帯（3.1%）増加しました。

表3. 世帯の種類別世帯数及び世帯人員の推移

（単位：世帯、人、%）

年次	総世帯数	一般世帯			施設等の世帯人員
		世帯数	世帯人員	1世帯当たり人員	
平成17年	30,334	29,420	75,865	2.58	1,274
22年	31,514	31,486	78,557	2.49	1,287
27年	32,491	32,449	78,755	2.43	1,335
増減数					
17～22	1,180	2,066	2,692	—	13
22～27	977	963	198	—	48
増減率					
17～22	3.9	7.0	3.5	—	1.0
22～27	3.1	3.1	0.3	—	3.7

注) 総世帯数は「不詳」を含む。

— 一般世帯の78.1%が3人以下の世帯 —

一般世帯の世帯人員別世帯数をみると、平成27年では2人世帯が9,758世帯と最も多く、30.1%を占めています。次いで1人世帯9,058世帯（27.9%）、3人世帯6,525世帯（20.1%）の順となっており、世帯人員3人以下の世帯だけで全体の78.1%を占めています。

平成22年と比べて、1人世帯（9.3%増）、2人世帯（5.2%増）、については増加傾向にある一方、3人世帯についてはほぼ増減なし、4人以上の世帯については、全体的に減少傾向がみられ、このことから世帯規模は平成22年よりもさらに縮小傾向にあることがわかります。

表4. 世帯人員別一般世帯数

(単位：世帯、%)

世帯人員	一般世帯数			構 成 比			増 減 率	
	17年	22年	27年	17年	22年	27年	17~22	22~27
総 数	29,420	31,486	32,449	100.0	100.0	100.0	7.0	3.1
1 人	7,317	8,284	9,058	24.9	26.3	27.9	13.2	9.3
2 人	8,315	9,277	9,758	28.3	29.5	30.1	11.6	5.2
3 人	6,178	6,526	6,525	21.0	20.7	20.1	5.6	0.0
4 人	5,383	5,426	5,360	18.3	17.2	16.5	0.8	△1.2
5 人	1,668	1,529	1,420	5.7	4.9	4.4	△8.3	△7.1
6 人	430	343	249	1.5	1.1	0.8	△20.2	△27.4
7 人	104	75	62	0.4	0.2	0.2	△27.9	△17.3
8人以上	25	26	17	0.1	0.1	0.1	4.0	△34.6

— 一般世帯の3分の2が核家族世帯 —

一般世帯について家族構成を類型別にみると平成27年では、世帯主と親族関係にある世帯員がいる「親族世帯」は、23,154世帯で、一般世帯の71.4%を占めています。また、世帯員1人の「単独世帯」は、9,058世帯(27.9%)、世帯主と親族関係にない世帯員を含んだ「非親族を含む世帯」は197世帯(0.6%)となっています。「親族世帯」のうち「核家族世帯」は、21,525世帯で、一般世帯のうち3分の2にあたる66.3%を占め、「核家族世帯」以外の「その他の親族世帯」は1,629世帯(5.0%)となっています。

平成22年と比べると「親族世帯」のうち「核家族世帯」は779世帯(3.8%)増、「その他の親族世帯」は313世帯(16.1%)減となっています。また、「単独世帯」は774世帯(9.3%)増となっています。「核家族世帯」の内訳についてみると、「夫婦のみの世帯」は、307世帯(4.3%)増と大きく増加しました。

図8. 一般世帯の家族類型別割合の推移（平成17年～27年）

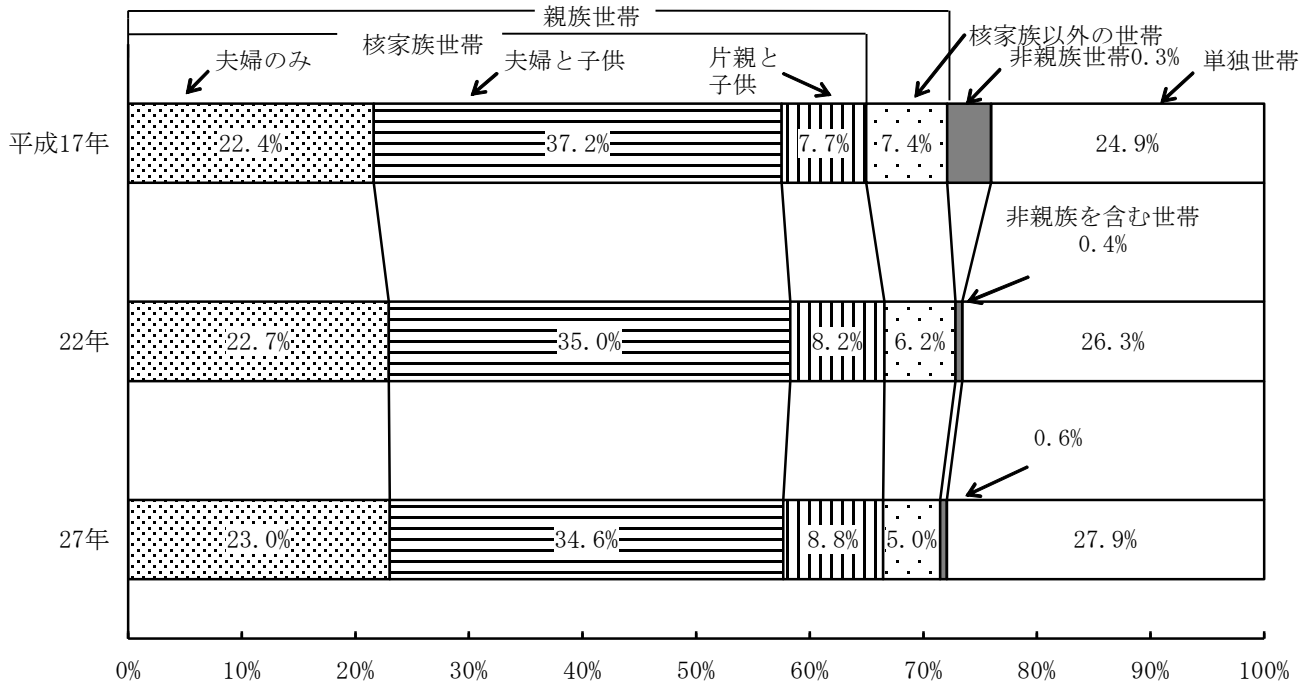


表5. 世帯の家族類型別一般世帯数（平成17年～27年）（単位：世帯、%）

世帯の家族類型	一般世帯数			家族類型別割合			増減率	
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	17～22年	22～27年
総数	29,420	31,486	32,449	100.0	100.0	100.0	7.0	3.1
親族世帯	21,987	22,688	23,154	74.7	72.1	71.4	3.2	2.1
核家族世帯	19,800	20,746	21,525	67.3	65.9	66.3	4.8	3.8
夫婦のみ	6,585	7,147	7,454	22.4	22.7	23.0	8.5	4.3
夫婦と子供	10,937	11,021	11,221	37.2	35.0	34.6	0.8	1.8
男親と子供	328	351	398	1.1	1.1	1.2	7.0	13.4
女親と子供	1,950	2,227	2,452	6.6	7.1	7.6	14.2	10.1
核家族以外の世帯	2,187	1,942	1,629	7.4	6.2	5.0	△11.2	△16.1
夫婦と両親	57	48	33	0.2	0.2	0.1	△15.8	△31.3
夫婦とひとり親	315	300	260	1.1	1.0	0.8	△4.8	△13.3
夫婦、子供と両親	304	217	154	1.0	0.7	0.5	△28.6	△29.0
夫婦、子供とひとり親	810	619	497	2.8	2.0	1.5	△23.6	△19.7
夫婦と他の親族	51	64	53	0.2	0.2	0.2	25.5	△17.2
夫婦、子供と他の親族	166	198	185	0.6	0.6	0.6	19.3	△6.6
夫婦、親と他の親族	35	17	23	0.1	0.1	0.1	△51.4	35.3
夫婦、子供、親と他の親族	81	71	43	0.3	0.2	0.1	△12.3	△39.4
兄弟姉妹のみ	138	145	145	0.5	0.5	0.4	5.1	0.0
他に分類されない親族世帯	230	263	236	0.8	0.8	0.7	14.3	△10.3
非親族世帯	116	—	—	0.4	—	—	—	—
非親族を含む世帯	—	178	197	—	0.6	0.6	—	10.7
単身世帯	7,317	8,284	9,058	24.9	26.3	27.9	13.2	9.3

※平成22年の集計から、非親族世帯から非親族を含む世帯に変更された

— 高齢夫婦世帯・高齢単身世帯が大幅に増加 —

65歳以上の高齢者親族のいる一般世帯は13,057世帯で、一般世帯の40.2%を占め、その割合は、平成17年の30.7%、22年の34.8%から次第に高くなってきています。

内訳をみると、高齢者の「夫婦のみの世帯」は4,733世帯で、高齢者のいる世帯総数の36.2%を占め、「高齢単独者世帯」は3,365世帯(25.8%)となっています。また、高齢者が子供夫婦や孫と同居している「その他の親族世帯」は1,401世帯(10.7%)で、平成22年から4.1ポイント低下しており、子供や孫と暮らしていない高齢者の割合が増加していることがうかがえます。

図9. 65歳以上の親族のいる一般世帯の家族類型別割合の推移

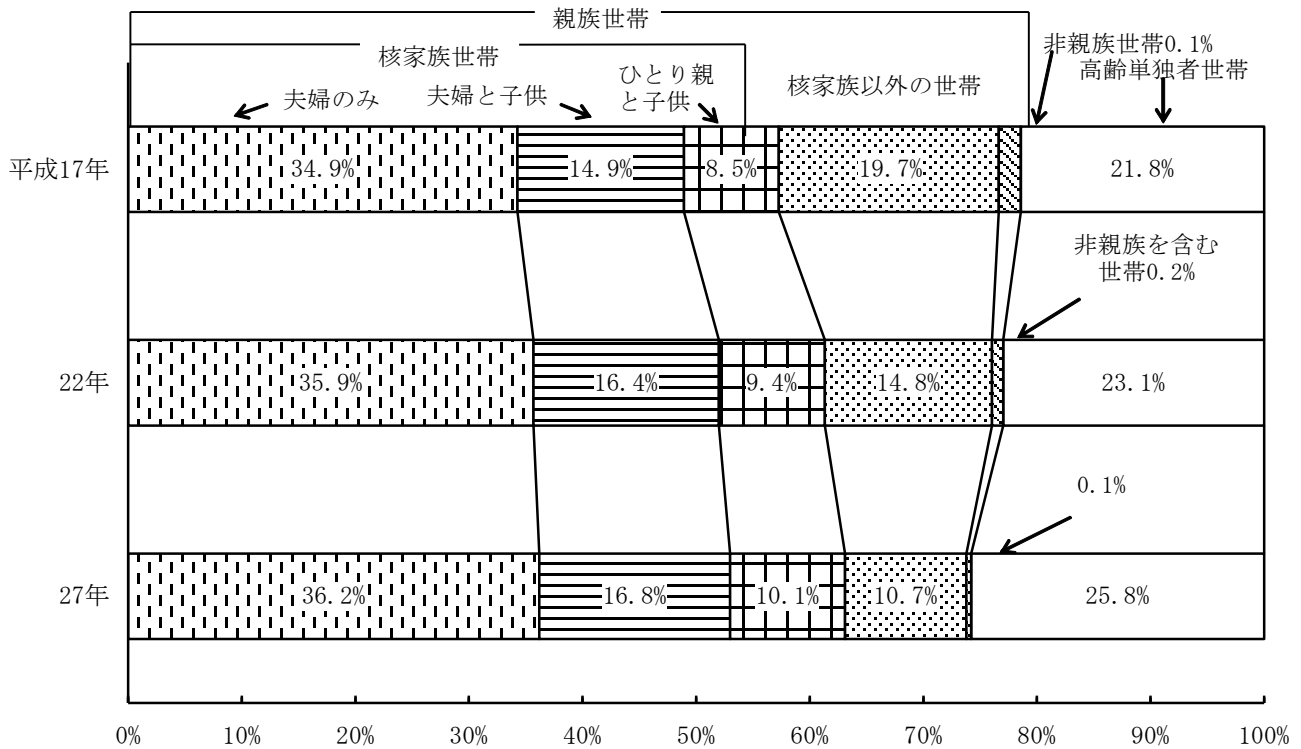


表6. 世帯の家族類型別 65歳以上の親族のいる一般世帯数(平成17年~27年) (単位:世帯、%)

世帯の家族類型	一般世帯数			家族類型別割合			増減率	
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	17~22年	22~27年
総数	9,042 (30.7)	10,964 (34.8)	13,057 (40.2)	100.0	100.0	100.0	21.3	19.1
親族世帯	7,054	8,388	9,636	78.0	76.5	73.8	18.9	14.9
核家族世帯	5,269	6,765	8,235	58.3	61.7	63.1	28.4	21.7
夫婦のみ	3,157	3,937	4,733	34.9	35.9	36.2	24.7	20.2
夫婦と子供	1,343	1,798	2,189	14.9	16.4	16.8	33.9	21.7
片親と子供	769	1,030	1,313	8.5	9.4	10.1	33.9	27.5
核家族以外の世帯	1,785	1,623	1,401	19.7	14.8	10.7	△9.1	△13.7
非親族世帯	15	-	-	0.2	-	-	-	-
非親族を含む世帯	-	47	56	-	0.4	0.4	-	19.1
高齢単独者世帯	1,973	2,529	3,365	21.8	23.1	25.8	28.2	33.1

注1) () 内の数値は、一般世帯に占める65歳以上の親族のいる一般世帯の割合

注2) 平成22年の集計から、非親族世帯から非親族を含む世帯に変更された